



山口県本部版

NO 278

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

山口県本部

〒754-0004

山口市小郡金堀町

21番の1

林洋武方

電話&FAX

083 (972) 3987

全日本年金者組合山口県本部「年金一揆」

10月22日 全国で行われた年金一揆に呼応し山口市民会館前で開催されました。男女の年金格差是正など訴えました。

◆ 参議院補選で共産党の河合喜代氏、過去最高の得票率。

◆ 衆院選で政権交代への最初のチャレンジとなった野党共闘はあと一歩まで追い詰めた。

◆ 阿武町議選（10月24日・定数8）で共産党の米津高明氏（73歳）がトップ当選

◆ 11月15日（月）、萩・阿武葬祭不当解雇事件第10回公判、山口地裁萩支部で開催

◆ 12月6日（月）センチュリー裁判第5回公判、山口地裁で開催

◆ 12月20日（土）午後2時から

山口県革新懇総会（県教育会館）

同 国民救援会山口県本部総会

（小郡ふれあいセンター）

◆ 国賠同盟中国ブロック交流会議

12月5日（日）午後1時から広島市で開催

◆ 国賠同盟の署名は十月三十一日現在

個人署名百二十六筆、団体署名は十筆です。

年末募金、会費納入お願いします。

最後の4・16被告 田熊眞澄さんへ聞く

〈その7〉

林 佐野文夫（一八九二年生、一九三二年死）は、日本共産党第三回大会（一九二六年二月）で議長をつとめる。中央委員に選出。福本イズムの影響を党に持ち込んだ理由で二七年一二月、福本和夫とともに党中央を解任。重い結核のため保釈。保釈後死亡。と人名辞典にあります。

田熊 本監獄に入ってから十、二舎に入れられました。接見禁止の独房でした。ここには一号おきに、共産党事件関係者がいました。「鏡を買え」といわれて小さな鏡を買いました。この鏡の角を、ドアの下の換気の小さな窓から房外に出して外を映し、廊下に看守がいないことを確かめて一号先の共産党の人と話すことが出来ました。そう大きな声を出さなくても話は出来

ました。監獄に入れられて取り調べはないしほったらかしで、接見禁止で外の情報は入らないし、メドが立たず、たいへん不安でした。そのとき公判のことや検察への態度などいろいろ教えてもらいました。その人の名前はわかりませんでした。お互いに名前を聞くことは、当時は失礼にあたることでした。弾圧をひろげないための当時の流儀でした。

私は市ヶ谷の未決にいたときは、他の人とは違って金には困りませんでした。会社からの150円の退職手当もあつて金はありました。本をよく買いました。本の中味は制限はあるのですが、経済学全集というのを毎月一冊ずつ買って読みました。それに刑務所の中にあつた官本（刑務所が用意した図書）で鳥井竜蔵という人の書いた「日本人の起源」に関する本、題名は

忘れましたが、を読みました。

この本には、日本人の原点が、蒙古と朝鮮と中国それぞれの民族の混血からなっているということが説得的に書かれています。私はこの時、それまで教えられた神話と皇国史観が間違いだと思つきました。刑務所の官本からマルクス主義に自信をつきました。

私は弾圧されるまで党のことも科学的社会主義のことも知りませんでした。この市ヶ谷の未決での官本と自分で買った本で勉強して確信を付けていきました。

市ヶ谷では赤色救援会から差し入れがありました。「渡政のお母さん」（渡辺政之輔のお母さん）の名義でしたが、布子（綿のたつぷり入った暖かい防寒着）の差し入れは寒い刑務所の中ではほんとうに助かりました。一番の大感謝だったです。市ヶ谷の

刑務所を出たところに救援会の事務所を作って被告達を激励していました。また目蒲電鉄の車掌たちが餓別と見舞金を届けてくれました。

逮捕されてから二年、市ヶ谷の未決に入れられているとき「予審終結決定書」が裁判所から届きました。その冒頭に「市川正一、四一才山口県熊毛郡光井村一番地」と記載されておりびっくりしました。私の塩田村から数キロしか離れていないところに大先輩が出ていることに驚き、非常にうれしかったことを鮮明に覚えています。市川氏とは公判になるまで顔は会いませんでした。

先に幹部への取り調べがあつて私たちのような下っ端は後回しになったのでしよう。保釈で出る前に検事が出張してきて二階で取り調べがありました。

つづく